

**(和名なし) ヴォルテラ属の一種***Volutella* sp.

ボタンタケ目ネクトリア科

採集者	中島淳志
採集日	2016/9/26
採集場所	神奈川県伊勢原市日向



## ◆観察ノート

- ・**マメ科植物 (ダイズ?)** の枯れ茎に多数発生していました
- ・肉眼では一見極小のチャワンタケの仲間に見えますが、実は**全くの別もの**です
- ・この円形クッション状の構造は**スポロドキア**とよばれるものです
- ・20本ほどの**長い毛**が疎らに生えているのが特徴ですが、**無色極細**なので肉眼では見えないと思います
- ・**スポロドキア**は子囊盤ではないので、顕微鏡で見ても当然子囊は見当たりません
- ・**フィアライド**とよばれる細長い細胞から小型の**分生子** (孢子) を多数形成します
- ・**フィアライド**同士は密着しているので、個々の**フィアライド**を観察するには相当押しつぶす必要がありました
- ・ヴォルテラといえば、私はカイコウズの花に大量発生しているのを見たこともありますが、あれも**マメ科植物**ですね

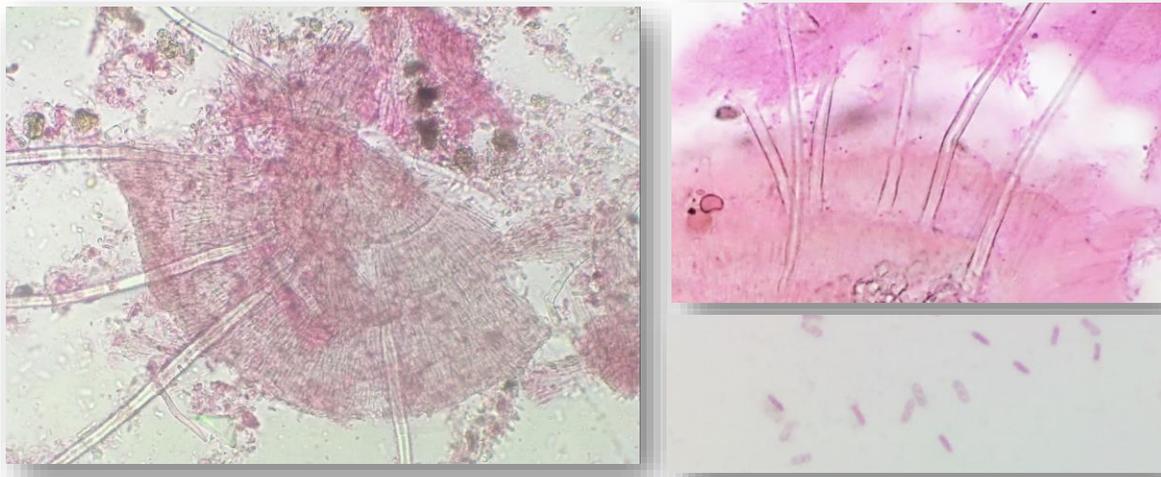
## ◆分類学的情報

- ・マメ科草本の枯茎や枯れた莢には赤い粒状の小さなきのこ (**ネクトリア**、**和名: アカツブタケ**) がよく見られますが、ヴォルテラはその仲間です (似ても似つかない外見ですが、この辺りの解説は長くなるので割愛)
- ・この仲間は多数の種を含みますが、まとまった検索表が見当たらなかったため、属までの同定に留めています (今後データが集まったら追記します)

## ◆よく似た種との識別

- ・本標本の**スポロドキア**は**黄色**でしたが、**白色**や**ピンク色**の種もあるようです

・分生子のサイズや形状も種によって異なり、本標本は**桿形**でしたが、より細長いものや球形のもの、両端が尖るものなどもあるようです



## 同定のエビデンス

(エビデンス1) Masee, G. 1893. British Fungus-flora: A Classified Text-book of Mycology

	供試標本	Masee (1893) [属および各種の記載文より]
スポロドキアの直径	平均約270 μm (下図参照)	(左記のサイズを範囲に含む種もある)
スポロドキアの形状	盤状無柄	盤状無柄
スポロドキアの色	淡黄色	白色、ばら色、黄色など
剛毛の位置	スポロドキアの縁部	スポロドキアの縁部または全面
フィアライドの形状	円筒形	-
分生子のサイズ	平均 7.39×2.97 μm (下図参照)	(左記のサイズを範囲に含む種もある)
分生子の形状	桿形	楕円形～長楕円形または類球形 (桿形～円筒形の種もある)
剛毛のサイズ	約240-600×6-7.5 μm	-
剛毛の色	無色	-
剛毛の壁	厚壁	-

図1：スポロドキアの直径 (n=66)

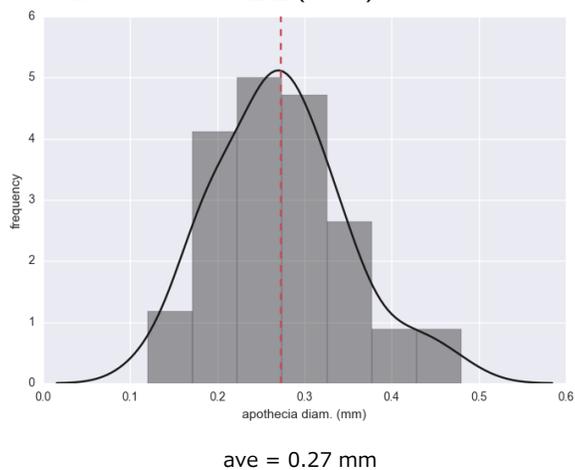
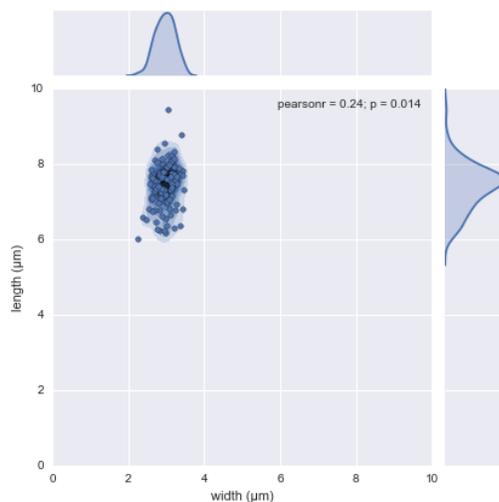


図2：分生子のサイズ (n=100)



ave = 7.39×2.97 μm